



助産師レター



滋賀県看護協会助産師職能委員会 VOL. 33 平成 28 年 12 月

冷たい風が身にしみる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。インフルエンザも猛威を振るい始めていますので、体調管理には十分気をつけてください。

職能委員長報告

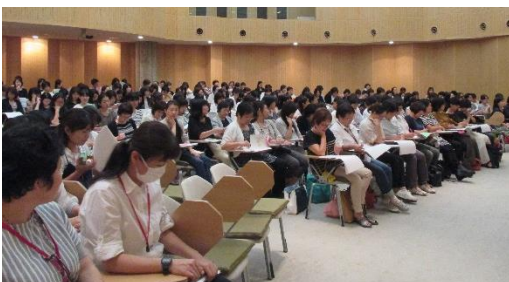
全国助産師交流集会報告

◆職能委員長より

みなさんこんにちは。いつも職能の活動にご協力・ご支援ありがとうございます。
今年もいよいよカウントダウンが始まりました。皆さんにとってこの一年はどのような年でしたか？私は熊本地震や東日本大震災を経験された方々から、災害支援の体験や課題を多く聴くことができました。近隣地域で発生した時の母子支援について、助産師の役割とネットワークづくりの重要性を痛感した一年でした。委員会におきましても今まで以上に関心を深めていきたいと思えます。

近畿地区合同研修会

平成 28 年 10 月 1 日に、大阪府看護協会ナースングアート大阪のレモンホールで開催されました。テーマは「虐待予防のための妊娠期からの他職種連携」で、日本看護協会の中板育美常任理事が、妊娠期からの虐待予防について講演されました。その中で、虐待予防に向けた法律改正や助産師との役割分担を強調されました。またシンポジウムでは、施設助産師、臨床心理士、地域助産師、行政保健師 4 名からそれぞれの立場で発表され、どなたも連携強化を課題に挙げられていました。参加者 199 名（滋賀県からは 17 名）と大盛況でした。（委員長：吉岡千晴）



ゆりかごタクシー実務研修会

10月31日（月）、滋賀県トラック化総合会館において平成28年度妊婦さんのタクシー利用に関する実務研修が行われました。

午前・午後あわせて 65 名の参加があり皆さん修了され、新たに 2 社にゆりかごタクシー認定証が授与されました。皆さん熱心に講義を聴いておられ、実務においては質問も多く寄せられました。ゆりかごタクシー発足から 3 年になりますが今年度からは全県区での利用が可能になり登録数も増加してきています。

妊婦さんの移動の手段としてだけでなく産後の健診や乳児健診時の利用、また登録していることそのものが妊婦さんへの安心感につながっており今後も利用が期待されます。（委員：前川孝枝）



新生児蘇生法Aコース講習会

平成 28 年 11 月 6 日 (日)

大津赤十字病院にて開催

Aコース受講者14名、更新者5名が参加し、講義 演習に積極的に取り組んでおられました。

一通りの実技演習を終了後、認定試験が実施されました。(委員：塩成子)



平成28年度 助産師キャリアアップ 応援事業研修

第2回新人助産師研修

平成 28 年 10 月 8 日

滋賀医科大学医学部附属病医院 D 棟 1 階多目的室

今年は、事例を提示して、技術だけでなく診断しながら分娩介助の実践を行いました。経験や今ある知識・技術を駆使しながら、一生懸命取り組んでいました。午後からは、午前中の実践からどうすれば安心・安全な分娩となるのか話し合い、診断力や人間関係の大切さなど技術だけでなく多くの学びが得られたようです。また6か月の到達目標もあわせて評価を行い、成長したことや今後の課題などが明確になりました。(委員：川島もと子)



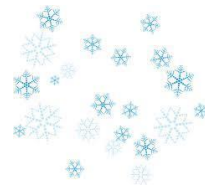
第1回中堅・エキスパート助産師研修

平成 28 年 11 月 18 日

滋賀医科大学医学部附属病院 4階会議室

今年度は3名の受講生です。午前は滋賀医科大学の村上節教授より「滋賀県の周産期医療の現状と課題」、高橋里玄先生より「助産師の役割と責務」をテーマに講義を受けました。午後から助産師ラダーと自己課題について意見交換をしました。中堅とあって3名とも自己課題が明確であり、助産師としてさらなる向上しようという気持ちが感じられました。今後10日間、県内病院、県外の助産所で自己課題に向けた研修を受けられる予定です。

(委員：川島もと子)



1月の予定



1月7日(土)

助産師集会および助産師職能研修会

午前の部：職能委員会報告

グループワーク

「助産師を育てる

～基礎教育・継続教育の立場から～」

演者：聖泉大学 井上 佳子 先生

大津市民病院 川島 もと子 先生

午後の部

研修会「母体急変時の初期対応」

講師：済生会滋賀県病院 産婦人科主任部長

喜多 伸幸 先生

